



## 転移性脳腫瘍に対する 新しい放射線療法について

放射線治療科 今村 朋理



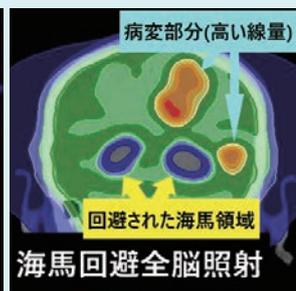
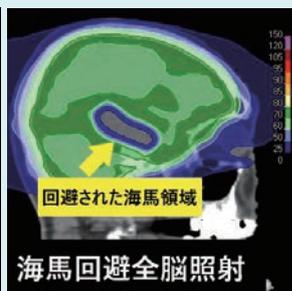
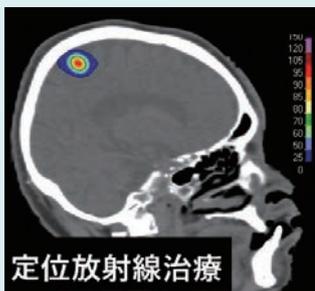
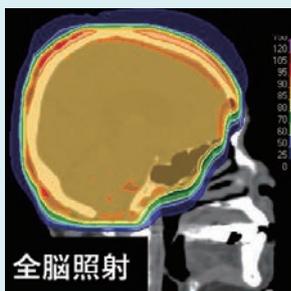
転移性脳腫瘍の治療法には放射線療法、手術療法、薬物療法などがありますが、放射線療法は、比較的侵襲が少なく転移性脳腫瘍の治療に対し重要な役割を担っています。放射線療法は大きく分けると、病変部のみへピンポイントで照射を行う「定位放射線療法」と、脳全体に放射線を照射する「全脳照射」があります。

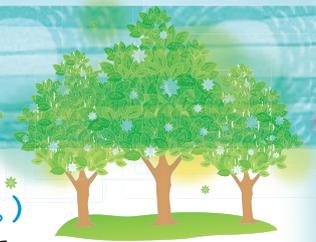
定位放射線療法は、正常脳への影響をできるだけ抑えながら、病変部分へ高い線量を集中して照射することができる高精度放射線療法の一つです。しかしながら病変の大きさや個数などによりこの治療法が行えない場合もあり、その場合は全脳照射が選択されます。

全脳照射の問題点として遅発性の高次脳機

能障害（認知機能障害）が挙げられます。近年、海馬を回避した全脳照射を行

うことで、従来の全脳照射と比べ、腫瘍の制御率や全生存率を低下させずに認知機能を保つことができたという臨床試験の報告を受け（J Clin Oncol. 2020;38（10）:1019-29）、当院では新たな高精度放射線療法として海馬回避全脳照射を開始しております。また、病変の大きさや個数によっては、海馬を回避しつつも病変部分へより高い線量を集中して照射する、「定位放射線療法」と「海馬回避全脳照射」を組み合わせた治療も行っております。





### 1. 地域連携の会 (ハイブリッド開催 ※会場またはWEBでの参加が可能です。)

※参加ご希望の先生は、ふれあい地域医療センターへご連絡お願いいたします。

日時：12月14日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

#### 1) 症例検討 2例

(1) 「腎硬化症の経過中に発症したANCA関連急速系球体腎炎の1例」

腎臓内科 石坂 真菜

(2) 「胸腰椎圧迫骨折後にギランバレー症候群を発症した1例」

整形外科 岡本 駿郎

#### 2) ミニレクチャー 2題

(1) 「もう一度学ぶベッドサイドの脳神経疾患の診かた ~パーキンソン病~」

脳神経内科 林 茂

神経診察の80-90%は、問診にあり、基本的診察手技を身につける必要はありますが、全体の10-20%ほどの役割となります。詳細な病歴があれば、神経診察も画像診断も補助的なものとなります。問診する前に得られる情報も大切に、服薬情報は、薬剤性パーキンソン症候群の鑑別に役立ちます。診察室に入室する際には、歩行の状況からもパーキンソン病が疑われるなど、診察室へ

入る前から、診察は始まっています。問診のポイントでは、主訴の中身を具体的に聴くことが大切ですが、パーキンソン病の場合、「力が入りにくい」といった曖昧な表現での受診であったり、「夜中に寝ぼけて大声を上げる」、「足腰が痛む」などの全く想定もしていなかった訴えだったりのこともあります。パーキンソン病における問診の注意点、症状、診察法、検査に関して、解説します。

(2) 「糖尿病性腎症の患者さんに対してできること」

内分泌代謝内科 毛利 研祐

典型的な糖尿病性腎症の臨床経過では、糖尿病発症後比較的早期から系球体過剰濾過が生じ、5~10年の経過で微量アルブミン尿が出現する。その後、顕性アルブミン尿レベルまでアルブミン尿が増加すると、急速に系球体濾過量GFRが低下して最終的に末期腎不全期に至る。高齢化が進む我が国では生活習慣と社会環境の変化に伴い糖尿病患者数のみならず糖尿病性腎症透析導入など、重症化した患者数の増加が大きな問題となっている。糖尿病性腎症は富山県において透析導入患者の

4割を占めており、これらの糖尿病性腎症による透析導入を予防するためには、行政、医師会、糖尿病・腎臓病専門医、患者の連携が重要と考えられている。日本医師会・日本糖尿病対策推進会議・厚生労働省は2016年に糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定を締結した。この協定に基づき各自治体では「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が策定され、運用が行われている。各自治体での取り組みの他、臨床の視点から糖尿病性腎症に対する治療について概説する。

### 予告

令和4年1月は、地域連携症例検討会の開催はありません。

次の開催は2月8日(火)19時からを予定しております。先生方のご参加をお待ちしております。

日時：2月8日(火)19:00~20:15 ハイブリッド開催

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討2例 (担当) 消化器内科、整形外科

②ミニレクチャー1題 (担当) 産婦人科

地域連携の会・地域連携症例検討会に関しては、今後もWEBを利用したハイブリッド方式で開催していくことを計画しています。つきましては、ZOOM会議のご案内に関して参加される先生がたの利便性に鑑みURLならびにQRコード等をお送りするため、下記のメールアドレスへ①貴施設名 ②氏名を明記の上、メール送信いただきますよう、よろしくお願いいたします。

[ttm2168@tch.toyama.toyama.jp](mailto:ttm2168@tch.toyama.toyama.jp)

(ふれあい地域医療センター 地域医療連携室)

### ※定例の研修会、看護研修

当面の間、開催を見合わせております。



作：病院ボランティア 篠崎 佳子



## 研修医のひとりごと

初期研修医  
益永 拓也



富山市立富山市民病院初期研修医2年目の益永と申します。

この1年半を振り返ってみると楽しかったことや辛かったことが多くあり、一言で表すことが難しいですが、医師として成長できたと実感できる1年半でした。当院は富山市の中核病院として多くの診療科を有し、研修医は1-2ヶ月単位で各診療科をローテーションしていきます。各診療科ではcommon diseaseを診療する機会に恵まれており、多くの知識や様々な手技を身につける機会があります。各科の上級医の先生

は熱心かつ丁寧な指導をしてくださり、看護師さんなど周りの方々は非常に優しく接して下さりました。

研修医になり最初の1ヶ月目に新型コロナウイルスの流行が起こり、当院でも感染対策が強化されました。このような前代未聞の事態での研修生活は通常の研修では経験できないことも経験できたと思います。

医師人生の基盤となる研修医の時期を当院で過ごしたことを忘れず、今後も日々精進していく所存です。

## 医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

# 12月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	林	1日	皮膚科	野村佳	15日
	水野	1日、10日		大村	3日、13日
整形外科・関節再建外科	重本	27日	呼吸器・血管外科	瀬川	2日
産婦人科	津田竜	17日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	15日、24日
眼科	山田芳	6日		里見	8日、13日、20日
	高松	13日	寺島	28日	
形成外科	田畑	3日	歯科口腔外科	朝倉	6日、20日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

## ふれあい地域医療センターからのお知らせ

日頃より大変お世話になり、ありがとうございます。

年末年始のふれあい地域医療センターの業務については以下のとおりとなっておりますので、よろしく願いいたします。

**12月29日(水)～1月3日(月) 休み 1月4日(火) から通常通り**

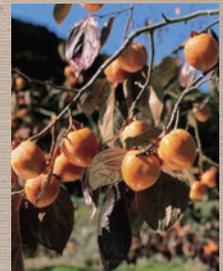
※なお、救急患者さんの対応に関しては、救急センターへご連絡ください。

## 編集後記

昨年から日本中で猛威をふるっているコロナウイルスの感染者数が、ここ最近落ち着いています。まだまだ油断は出来ませんが、これまでの自粛生活から日常生活の幅を広げることが出来るのは、とてもいいことだと思います。昨年は中止された富山マラソンが、先日開催され、多くのランナーの方が汗を流し、ゴールを目指していました。感染対策を行いながら、趣味やリフレッシュの時間も大切にしていけるといいですね。

今年もあと2ヶ月を切り、コロナ禍の1年がまた終わろうとしています。コロナウイルスとの戦いも早くゴールを迎えることを願うばかりです。

精神デイケア科 渡邊 玲菜



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154  
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp